

自己点検・評価の体制

「自己点検・評価実施規程」にもとづき「全学企画調査委員会」を設置して組織的に取り組んでいる。「全学企画調査委員会」は本協会の自己点検・評価項目にしたがい、その年に実施すべき項目を決定し、「教学検討委員会」などの各委員会が中心となって『点検・評価報告書』を年度末にとりまとめている。また、「創価大学 21 世紀委員会」を中心にして、毎年 4 月に「創価大学教育ビジョン」を発表して、自己点検・評価を行っている。

開学時から学生、理事会、教員、職員の代表で構成される「全学協議会」が組織され運営されている。同協議会は既に 280 回を超えて実施されており、大学運営に学生の声を反映する点では極めて有意義な仕組みと思われる。同様に、各学部での協議会が運営されており、これも高く評価できよう。「全学協議会」に意思決定権はないものの、理事会・教授会などに勧告することができ、勧告を受けた機関はその結果を同協議会に報告することになっている。これは、学生の声が大学運営に採り入れられるシステムであり、大学教育の質の向上につながるものとして注目できる。